

anemone

8

August
2022

No.321

定価880円
[本体800円]

女神と男神の 聖なるSEX

アセンションのラストパート

人が神へと至る性の秘密を大公開

特別企画

インプラントも除去!

シリウスから降ろされた覚醒ケアメニューで
宇宙に奉仕する9次元ライトボディになる!

聖体師・宇宙ボディプログラマー 郷坪聖史さん、玲子さん

隔月新連載

地球の声を聴く生き方

第二回「いまこそ『自給』を始めよう」

自然栽培農家 明石誠一さん

特集

性のマスター

アダム徳永さん

エヴァセラピー協会理事

天音陽子さん

タオイストジャパン代表

Tarikaさん

SUNDARI YOGA代表

ブレム・カイホーさん

Outline

火と水の錬金術で宇宙誕生時の
至高オーガズムを体現。タオとタントラの秘奥。

Topics

神次元SEXで地球は愛と調和の星になる

女性が一人で覚醒する「女神の秘儀」と

「チャネリングセックス」

性器とハートはつながっている!

エロスのエネルギーで内なる女神を開く

「ミマッサージ」

How to

オーガズムのエネルギーをめぐらせる

「卵巣(拳丸)呼吸」

性感脳を開く「アダムタッチ」

瞑想脳を作る「シータ波導入キス」

Cosmic

宇宙人とのエネルギーセックス

星ごとに異なるセクシャル事情

Culture

日本の性文化

縄文の多夫多妻制／性器信仰／真言密教・理趣経・夜這い・混浴

見るだけで癒し・変容・覚醒が起こる

光のキャプラー

Be Galvan in Darkness

光の幻想アーティスト

奥田みきさん

女神と男神による “神次元SEX”で 地球は愛と調和の星になる

現代を生きる多くの人は、性の本質への正しい知識を持っておらず、誤った観念を植え付けられてしまっています。

宗教を通じての長期的なコントロールがベースとなり、特に戦後、GHQの「3S政策※」という洗脳計画によって

セックスは単なる快楽を求める卑俗なものに貶められ、商業主義がそれを助長。そして悲しいことに、AVやポルノが教科書のようにになっているのが現状です。

本来の在り方からすると、これはゆゆしき事態で、宇宙の歪みともなっているのです。性を貶めることは、私たちの存在を、尊厳を貶めることにほかなりません。

そんな自然から逸脱した地球の状況を回復させるべく、アルクトゥルス次元からマスタークラスの魂が派遣されました。

高次の愛と叡智と勇気を備えた彼の名は、アダム徳永——
ある意味、イエスの時代に神を説くことよりも難しいテーマを掲げ、

アセンションワーカーとして地上部隊を担うために
数々の転生経験を積んでこられたアダム徳永さんに

数千、数万年単位の洗脳を解き放つ真実を語っていただきました。

日本中に光の柱を立てるべく、
アダムさんが提唱する「スローセックス」や「女神セックス」とはどんなものなのか、

「いまだからこそ伝えたい、そしてアネモネ読者だからこそ伝わるに違いない」という
アダムさん渾身のメッセージを、どうぞ魂で受け取ってください。

お話し◎アダム徳永さん 取材・構成◎編集部 文◎中野洋子、中田眞理亜（編集部） 撮影◎高谷けんじ（編集部） イラスト◎ツグワ、ホン多

Adam

性のマスター

アダム徳永さん

Tokunaga Adam

Profile

あだむとくなが◎1954年生まれ。(株)エヴァコミュニケーションズ代表。(一社)エヴァセラピー協会代表理事。名古屋芸術大学卒業後、イラストレーターとして活躍。33歳のときの霊的体験から「人類の幸福の探求」を始め、幸福の根源が男女の和合にあるとの確信からセックスを研究。天の啓示を受けオリジナルの理念とメソッドを確立、「スローセックス」と命名。男女の聖なる和合を通して愛を広げることが提唱し、性の変革者として多くの男女に影響を与えている。「スローセックス実践入門』『男は女を知らない』（講談社+α新書）ほか著書多数。

アダム徳永公式サイト <https://adam-tokunaga.com>

エヴァセラピー協会 <https://evatherapy.jp/>

正（真の愛と性）を知るため
負を経験した人類の歴史

私たちが地球に生まれてきた共通の目的は、霊的成長であり、愛を学ぶことです。本来セックスは、単なる生殖行為を超え、男女が愛を交歓して霊性を高め合う総合芸術。神をこの世に顕す神聖な行為にほかなりません。

ところが、一般に認識されているセックスは、男性の肉欲が主体となった低次元レベルのもの。女性の感情を無視し、一方的に性的満足を得るための「ジャンクセックス」が、ネガティブな波動を増幅させ、地球の進化を阻んでいます。

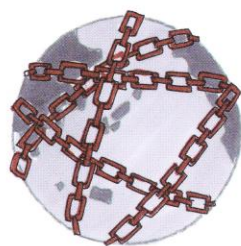
こうなった背景には、じつは何千

※3S政策：スポーツ観戦、スクリーン（映画鑑賞）、セックス（低俗な性欲を煽るもの）によって、日本国民の関心を政治に向けさせないようにするための愚民化政策。



年もの間の洗脳があります。人類は、性の本質を意図的に封印されてきたのです。

魂の成長プロセスは、人体にある7つのチャクラのテーマとリンクしています。第1段階（チャクラ）は生きているのがテーマ、第2段階で負の感情を、第3段階で正の感情を経験し、第4段階で愛し愛される経験、



第5段階で創造と表現に取り組み、第6段階で神に目醒め、第7段階で「我は神なり」の認識に達する。こうしたプロセスを必ずたどり、魂は進化します。

また、陰陽の相反する性質が共存する地球は、両極を経験して学ぶ場。生きることが課題の原始時代を経て、古代から現代に至るまでは、負を経験することがテーマでした。

人間の自由意志により戦争や破壊がくり返され、負のエネルギーが過剰になったことは否めません。しかし、宇宙から見ると地球人は、それを反転・統合して叡智やエネルギーに変えることができる、それを期待されている種族。最終章で愛や喜びをより深く認識するために、愛でないものを経験し尽くしてきました。

宗教が愛を分断し 罪意識とともに性を封印した

負の感情を体験するために、不幸を作り出すには、この世から愛を奪うのがいちばん。その最も簡単な方法が、男女の和合を分断することでした。その立役者は宗教です。

キリスト教、イスラム教、仏教のいずれも、子孫を増やす以外のセックスは低俗なものとし、快感を得るのは罪であると教え、羞恥心と

罪悪感を植えつけました。

開祖亡きあとに組織化した宗教は、多くの信者と財を集める必要があり、そのためには、人々が不幸で宗教に依存してくれたほうが都合がよかったわけだ。

さらに言うと、表向きは宗教支配ですが、その裏では、レプティリアンをはじめとするダーク系宇宙人が暗躍しています。彼らはある種のゲーム感覚で、人間の魂を支配するために、宗教家や権力者たちを通じて、見えない世界から大衆を操作してきました。近年明るみにされているイルミナティ、ディープステートなどの闇の組織も同じです。

しかし彼らも、宇宙から俯瞰すれば、人類の進化のために必要な役割を演じてくれているだけ。そしてアセンション期を迎えたいま、そんな支配ゲームももう終わりです。

私の使命は、何千年もの歴史の中でセックスを、本来の神聖な価値観に戻すことだと自覚しています。

イエスは2千年前、奴隷や人身売買などがある時代に愛と信仰を説きました。多様で複雑な現代に、人間の核である性の革命を起こすのは、さらに輪をかけて難しいかもしれませんが、人々の目醒めが加速しているいま、エネルギーの共鳴で一気に変革する——それも日本から、日本の女性から変わると確信しています。

イエスから啓示を受けて 宇宙から情報をダウンロード

さて、私がなぜ性の道を進むことになったのか、少しでも自己紹介をさせていただきましょう。私は物心ついたときから、宗教ではない宇宙根源の神の存在を感じていました。そして高校生の頃から「人類を救済したい」という思いがあり、「性の問題こそ人類の幸せのカギになる」ともわかっていました。魂で決めたきたという感覚です。

いずれそのことをやるだろうと思いつつ、画家をめざして20代で渡米、イラストレーターとして活動していた33歳のときに、不思議な体験をします。夢の中で、目の前にイエス・キリストが現れたのです。超リアルな感覚で、私はとっさに

「人類の不幸の原因は性の問題にある。私はこれを解決したい。イエスさま、あなたはどうか思つか？」と、問いかけました。すると

「神を知った者がやらずして、いったい誰がやるのか」と。イエスさまからお墨付きをいただいた気がしたのです。

それ以降、私はセックスの研究に没頭。千人以上の女性を相手に、命がけで交わりながら技術を開発し、完成したのが、20数年前に公表した「スローセックス」です。

本を読んだり、古来の性の奥義を



試すでもなく、「こうすればいい」とおのずとわかる、不思議な既知感。宇宙からその情報を携えて転生してきたか、寝ている間に高次元のマスターから伝授され、情報をダウンロードしているのかもしれませんが、いずれにしても、自分で作ったというより、この時代にもたらされた神の恩恵だという感覚があります。

アルクトウルス星で生まれ 地球に派遣された性マスター

自著『スローセックス実践入門』をはじめ、スローセックスの本は100万部を超えるベストセラーとなり、その実践版として、六本木でセックススクールを開校しました。

10年で8千人の男性に指導し、スローセックスが普遍的なメソッドであることが多くの人の体験で実証されることになりました。

しかし、男性はどうしてもHOW TO SEXになりがち。そして知り得た情報を自分だけで独占・秘匿しようという心理が働くため、思ったように性の改革はできませんでした。

また、会社運営が主となって手段と目的が逆転することを避けるため、スクールはいったん閉じてプライベート講習のみとし、自己探求することにしたのです。もともと神さま好きでしたが、自己の本質や真理をさらに深く追求するために、いろいろなスピリチュアルの先生に会い、エネルギー伝授も受けました。

その一環でわかった私の過去世は、バチカンの司教やユダヤ教のラビ、モーゼの十戒を記した石板を納めたアークの担ぎ手など、なんと宗教家の連続だったのです。神さま好きの理由も、物事を善悪で判断しがちな性質も納得しました。

また、霊視で「あなたは王様だった」と言われることが多く、自分でもそんな気質があると思っていました。あるセッションを受けたとき、自分でも制御できないほどの魂の雄叫びのような激しい慟哭が突き上げました。それは、アトランティスの王だったときの極限の悲しみ――、

遠隔でも送れる “性エネルギー”

人間の生命力である気のエネルギーと性エネルギーは同質ですが、周波数が違います。送り手が、相手への愛を感じて深くつながりたいという意識を持つことで、気のエネルギーは性エネルギーへと変容するのです。厳密には、エーテル体のエネルギー、感情や思考のエネルギー、愛のエネルギーなどがすべて統合されたものが、性エネルギーとして相手に送られます。

意識によって気のエネルギーを操作することは、誰もが持つ力。エネルギーは時空間を超えて届きますから、遠隔でも女性に性エネルギーを送り、官能させることが可能です。達人になると、オーガズムへも導くことができます。気功などでも遠隔ヒーリングがありますが、それでは女性は官能しません。官能のためには、性エネルギーに変換する必要があります。(アダム徳永さん)

文明が崩壊するときの絶望の記憶が解放された声だったのです。

生まれて初めて伊勢神宮に行なったとき、参拝と同時に嵐のような風雨が巻き起こって神の意を知る経験もし、私の魂はアルクトウルスが故郷だということもわかりました。

そのようなスピリチュアルな旅により、私は覚醒の度合いを深め、「スローセックス」が女性を女神にするためのメソッドだという意義も再認識したのです。男性には女性を女神にする役割がある。その女神の恩恵によって、男性も男神になるのです。

気を性エネルギーに変換する
「アダムタッチ」

では、いよいよスローセックスのやり方についてお話ししていきます。まずお伝えしたいのは、セックスの本質は、気による性エネルギーの交流である、ということです。快感やエクスタシーは物理的な摩擦でもたらされる、というのは大間違いで、快感は波動領域で起こる、多次元的で複合的なものなのです。

気とは、原子核の周りで電子を回転させているエネルギー。人間を「元氣」にさせる、生命力です。

エネルギーである限り、波動領域があります。明るい、軽い、温かいといった高い振動数の波動領域にいと、人は幸せになり、暗い、重い、冷たいなどの低い振動数の波動領域にいと、不幸だと感じます。



アダム徳永さんが伝授!

性感脳を開く How To アダムタッチ

スローセックスの根幹をなすテクニックが「アダムタッチ」。

相手に性エネルギーを送り、特に女性の性感脳を開いていきます。右手による右回りの精円運動が基本です。

性エネルギーは特に指先と^{ろうきゅう}労宮（掌のほぼ中心にあるツボ）から集中的に放射されます。

- 1 掌（てのひら）を相手の肌から水平に約2cm浮かせます。そこから5本の指をそっと肌の上に置きます。ちょうどバスケットボールを両手で持ったときの手の形。指と指の間は1cm開けます。性エネルギーを最も放射しやすい形状なので、この手の形は重要です。
- 2 触れるか触れないかの、約0.1mmのソフトな圧力を保ちます。相手の肌と自分の指の間に薄い皮膜があるようなイメージです。
- 3 時計回り（右回り）に動かします。陰陽の法則から、右回りに行なうことで性エネルギーが浸透します。背中や腰といった広いスペースは大きな精円を、腕や太股のような横に長いスペースは細長い精円を描きます。スペースいっぱい精円を描くのがコツで、速度は1秒で3〜5cmの割合です。

*男性に対して行なうこともできます。



また、宇宙は陰陽で成り立ち、原子核と電子、N極とS極、雄と雌はたがいに引き合います。人間も、男性と女性がセックスで引き合うのはごく自然なこと。

人の体を通る「気のエネルギー」は、男女が触れ合い、愛し合うことで「性エネルギー」に変容します。それを大きく促すのが「アダムタッチ」です（上図み）。これは、指先を0.1mm程度の繊細な軽いタッチで触れていくもので、性エネルギーを指先から集中的に放射できます。

男性にも女性にも適用できますが、体全体に高感度な「愛され機能」が備わっている女性への効果は抜群です。なぜなら、**女性の本質は、愛されることだからです。**

さらに、自らの頭頂、第7チャクラから天のエネルギーを降ろす意識を持ちながら行なうと、より性エネルギーの純度が高まります。

そのとき大切なのは、高い波動のポジティブな意識で触れること。自分の思念や感情が、波動として相手に伝わるからです。

量子物理学でも証明されているように、意識は波動を起こす元で、思考や感情もエネルギーです。それらがポジティブでなければ、肉体・精神・霊性が伴った多次元的な幸福、至福へ導くことはできません。

特に男性は、「感じさせてやる」などの支配欲むき出しは、大NG。

愛と感謝と尊敬をもって、女性の中の女神を顕していく、女性なら、男性の中の男神を顕していく、という意識が最も大切です。

官能すると松果体が覚醒する性のメカニズム

女性の「愛され機能」について、もう少し詳しくお話ししましょう。アダムタッチのほか、今回初めての公表となる「シータ波導入キス」（P31図み）、愛撫などを男性が丁寧に行なうと、女性の「性感脳」が開いていきます。性感脳とは私が考えた造語で、性的快感を司る脳のこと。

女性の性感脳が開かれると、全身が高感度の感覚器官となり、性エネルギーは子宮に蓄積していきます。

そのとき重要な役割を果たすのが、医学的にもその存在理由を説明しきれていない神秘的器官、クリトリスです。ここを刺激すると、子宮にチャージされた性エネルギーが一気に活性化し、松果体のスイッチがオンになります。クリトリスは、松果体の着火装置なのです。

子宮に性エネルギーが満ちると、核融合のように大爆発し、中脈（会陰から頭頂に向かって体の中心に存在する経絡、気のルート）を通して頭頂を突き抜け、宇宙に放出されます。これが極上のオーガズムです。そのとき莫大な性エネルギーが松果

体を通して、覚醒が促されるのです。クリトリスに触れるときも、性欲に任せて強く刺激することは絶対にNG。クンニリングスでも同じで、男性がやさしくなめるときに、舌先の気のルートから女性に性エネルギーが放射されるのです。

松果体が覚醒して完全なるオーガズムに達した女性は、全身のチャクラが開き、宇宙エネルギーと同調した状態になります。歓喜と至福を味わい、宇宙と一体化した女性は、エゴなど入る隙もなく、愛があふれ続けています。官能を表現する女性の姿は、このうえなく美しく崇高で、まさに愛の女神そのものです。

このように女性が女神になったとき、体・心・魂のすべてで男性を受け入れる準備が整います。男性器の挿入は、このときを待つべきなのです。

女神になった女性は、何度でもオーガズムを迎え、宇宙と共鳴し続けます。その女神エネルギーにつつまれて、男性も全身全霊が波打つような別次元の宇宙的オーガズムに達することができるよう——これを私は「女神セックス」と名づけました。

神の本質は最高の喜び
オーガズムは神を体現すること

神とは無限のエネルギーであり、その本質は喜びです。神の唯一の望

みは、自分が何者なのかを知ること。そのために、自らの姿に似せて人間を作った。人間を通してあらゆる可能性を開花させ、自分を認識するために3次元を作ったのです。

男女がともに神意識で究極の愛を味わいながらオーガズムを感じることは、神そのものの体現、神の本質である喜びの体現になるわけです。この世にオーガズム以上の喜びはない、というのが私の持論です。オーガズムでエクスタシーを感じ、最高の歓喜を味わい尽くす経験は、セックス以外ではまず得られないもの。オリンピックや甲子園で勝利したときの喜びも、しばらくすると収まってしまうでしょう。

一方、オーガズムは、1時間でも2時間でも、やり方によっては高原オーガズムといって、ひと晩中、官能が続きます。またその喜びの質は多次元的で、肉体領域だけではありません。そのことは、多くの女性が涙を流しながら語ってくれました。

これまで味わったことのない至福感、宇宙との一体感、ワンネスの感覚、魂が宇宙を漂っている、神を見た、高次元に行った、生きていることの最高の充足……これらは精神や意識、超感覚の作用です。過去の恨みや未来への不安もいっさいなく、いまここへの至福のみ。これが究極の神の喜びの世界です。

性の罪意識で焼身自殺した修道士の前世

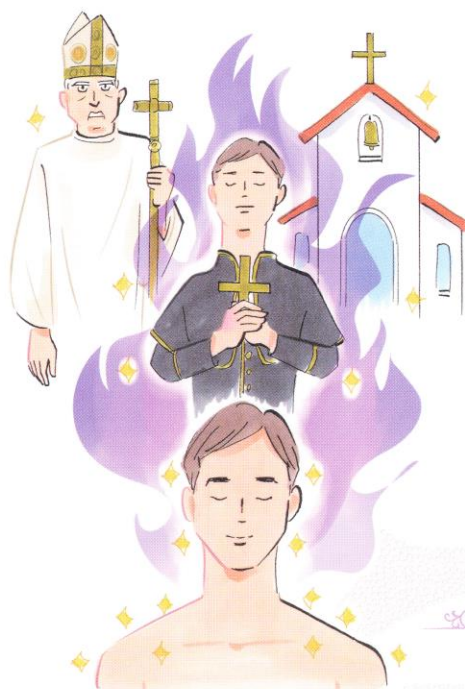
性に対する罪悪感が、どれほど今生に悪影響を与えているかの例として、私のセッションを受けた男性の体験をお話ししましょう。

彼は重度のアトピーがあり、赤みを帯びた皮膚症状が全身に広がっていました。退行催眠で前世に原因があることが判明。神に仕える修道士のビジョンが出てきたのですが、そのとき彼は非常に性欲が強く、どうしても抑えることができずに苦しんでいました。

キリスト教で性欲は罪です。それは火で燃やすと浄化できると教えていました。それで彼は自ら油をかぶり、火をつけて自害したのです。その後、「なんてバカなことを」と激しく後悔もして……。

この記憶を潜在意識に持って生まれ変わり、全身のアトピーが現れたわけです。自分が自分に呪縛をかけていたと気づいた男性は、性の罪悪感を解放しました。すると、何をしても治らなかったアトピーが、3回のセッションできれいに消えたのです。

善と悪という価値観は人間が作ったもの。神はあらゆることを体験としてみるもので、善悪はありません。体験から学べばいいだけのことです。(アダム徳永さん)





アダム徳永さんが伝授!

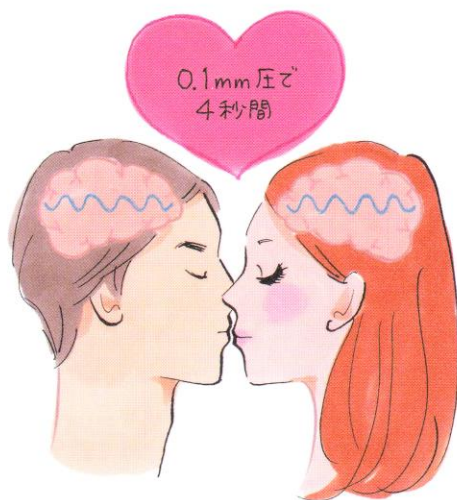
瞑想脳にする How To シータ派導入キス

ディープキスは、3次元の肉体的な感覚を助長するもの。

霊性を高めるには、脳波を瞑想状態のシータ波にする「シータ波導入キス」がおすすめです。

瞑想状態になると感覚が鋭敏になります。すると情報を受け取りやすくなり、アダムタッチの効果も倍増します。

- 1 顔と顔の間7cmのところから、7秒間かけて近づけます。
- 2 唇が触れるか触れないかの0.1mm圧のところで、4秒間静止します。
- 3 次に、5秒かけて5cm離れたところまで戻ります。
- 4 再び、5秒かけて近づけ、0.1mm圧のところで4秒間静止。
- 5 5秒かけて5cmのところまで戻ります。
- 6 さらに5秒かけて近づき、こんどは唇の力を抜いて密着させます。4秒間静止。
- 7 5秒かけて5cmのところまで戻ります。
- 8 これを3セットくり返します。



ポイントは、唇を突き出さずに、上下の唇を1mm開けた状態で行なうこと。これが最も唇がニュートラルな状態になります。慣れてくると、顔を近づけるだけで性エネルギーの交歓が始まり、感じるようになります。

セックスはご神事 超能力も目醒める

男性のいちばんの望みは、やはり、愛する女性を喜ばせ、最高のオーガズムを感じてもらうことに尽きるのではないかと思います。それが、男性としての根源的な自信にもつながっていくわけですが、それはとりもなおさず、**女性を女神にすること**で、**自らも男神になれる**からです。

そのためには、男性が無心に瞑想状態で愛の行為をすることがポイントです。愛の思いが純粹であるほど、無心で行なうほど、性エネルギーそのものの周波数上がり、喜びの質も深まり高まります。

そうして女神と男神になった男女が、その存在のすべてを通じて交流するのは、なんとスピリチュアルな行為であることでしょうか。二人で「我は神なり」の意識となつて溶け合う「神次元のセックス」。まさに**セックスは神事**なのです。

新しい天皇が即位するときに行なわれる「大嘗祭」では、神具として布団が用意されます。その行為が天とつながることをわかつていて、重要な儀式として代々受け継いでいるのです。

昔から巫女の役割は女性で、巫女を支える審神者は、男性が務めてきました。スローセックスでも、女性が覚醒すると、行為したままチャネ

リング状態に入ることがあります。本物のオーガズムで松果体が開くと、**超能力も覚醒**するため、天使や女神、宇宙存在との交流が始まる。

そのことは、私が女性向けに立ち上げたエヴァセラピー協会の理事である、天音陽子さんが語ってくれるでしょう(P32)。長いこと、女性を女神にするためのセックスを男性に教えてきましたが、女神の時代が本格化し、女性から開いていったほうが早いということで新たに始めたのが、エヴァセラピー協会です。

女性が目醒め、愛を表現し始めたら、一気に日本の霊性が立ち上がっていくでしょう。性に迷っている人が多い現代において、女性がまず変わると、夫婦間で愛が深まり、子どもや家族、社会、世界へと愛と幸せが循環します。

さらに、一人ひとりが神意識になつて5次元文明を築いていくために、神からのギフトであるスローセックスを活用し、地球を愛と調和の惑星へとシフトさせていきましょう。

Information

「女神覚醒セッション」

*詳しくはHPをご覧ください。

<https://adam-tokunaga.com/session/>

*エヴァセラピー協会に関するお問い合わせは、下記へ直接ご連絡ください。

<https://evatherapy.jp/contact/>

天上界の扉を開く 女性が一人で覚醒する 「女神の秘儀」と、 “チャネリングセックス”

アダム徳永さんのお話にもあったように、
男性は、女性を女神にするためのフックの役割をします。
まさに、「鍵」と「錠前」の関係です。
でも、女性のほうが男性よりも覚醒が早いもの。
それは、時代の終わり始まりは、女神が司るものと定められているから。
そして、本来このマザーアースは、女神が闊歩する母性の星だからです。
霊性時代の黎明期に生まれた女性たちはある意味、男性の目醒めを待たずして、
先に覚醒することを宿命づけられているのかもしれない。
そんな時代の求めと高次からの応援を受けて誕生したのが、
アダム徳永さんが創設したエヴァセラピー協会で提唱している「女神の秘儀」です。
同協会の理事である天音陽子さんは、女神の秘儀によって覚醒、
セックスが高次とのチャネリングになり、回を重ねるごとに開かれていっているのだとか。
マスターや神々、宇宙人たちも見学に来て、
宇宙人とのエネルギーセックスも経験されているといいます。
そんな天音さんに、詳しくお話をお聞かせいただきました。

お話◎天音陽子さん 取材・文・構成◎中田真理亜（編集部）
撮影◎竹之下三緒（P34）、高谷けんじ（P33／編集部） イラスト◎ツグヲ・ホン多



義務と演技のセックスしか
知らなかったのに協会理事へ

アダム先生のことを知ったのは、
コロナになる数カ月前のこと。ある
人のブログに「アダム徳永」「スロー
セックス」と書いてあり、リンクを
クリックすると、「セックスは神聖
なものだ」「いままでのセックスは
ジャンクセックスだ」という2文が
目に飛び込んできたんです。

アダム徳永という存在も知らな
かったのに、なぜか「この人と私の
頭の中は一緒だ」と思ったんですね。
それまでは、ふつうに結婚・出
産・育児をし、ときどき主人との
セックスに義務と演技でつきあう、
というジャンクな性生活。セックス
が神聖なものだなんて意識したこと
もなかったのに、「この人の言っ
ていることは真理そのものだ」と直観
したんです。

そして、アダム先生のメルマガを
取るようになり、エヴァセラピー協
会の設立も知って、何をするのか
もわからないままゼロ期生に応募。
255人が殺到したそうですが、不
思議と選ばれる確信がありました。

その後、アダム先生の教えに触れ
るにつれて、性のおまりの清らかさ
と美しさに感動。そこから、自分の
汚れたいなもの、昭和の女のがん
じがらみにしてきた皮がどんどん溶
けていき、女神セセッションと呼ばれ